厚生労働省
山口労働局

Press Release

令和２年１０月１日（木）
【照会先】
山口労働局労働基準部健康安全課
健康安全課長　　原田　竜雄
主任産業安全専門官　　上田　昌利
地方産業安全専門官　　藤原　康英
電話（083）995－0373

報道関係者各位

建設業における労働災害防止を主眼とした集中取組の実施

～山口労働局長が建設現場を緊急安全パトロール～

厚生労働省山口労働局（局長　村井完也（むらいかんや））は、前年同期と比べ建設工事における死傷災害が増加しており、今後も災害の多発が懸念されることから、10 月と 11 月を、「建設業における労働災害防止を主眼とした集中取組期間」とし、県内の各労働基準監督署による建設現場への集中的な監督・個別指導を実施するとともに、山口労働局長、山口労働基準監督署長、建設業労働災害防止協会及び発注者による合同安全パトロールを下記のとおり実施し、労働災害防止の徹底を図ります。

記

１　日　　時　　令和2年10月8日（木）９:30～
（少雨決行）
２　工 事 名　　新山口駅北地区拠点施設建設工事
３　工事現場　　山口市小郡下郷地内（新山口駅北側）
４　施 工 者　　大成建設･積水ハウス･鴻城土建工業特定建設工事共同企業体
５　注意事項
※ パトロールのスケジュール等の詳細は別紙1及び2のとおり
※ 取材を希望される方は、準備の都合がありますので、別紙3によりFAXで、10月7日（水）12時までに　ご連絡願います。

（添付資料）
○ 別紙1　令和2年度　建設現場緊急安全パトロール実施要領
○ 別紙2　現場案内図及び取材にあたっての留意事項
○ 別紙3　取材申込書
○ 参　考　令和2年建設業における労働災害発生状況

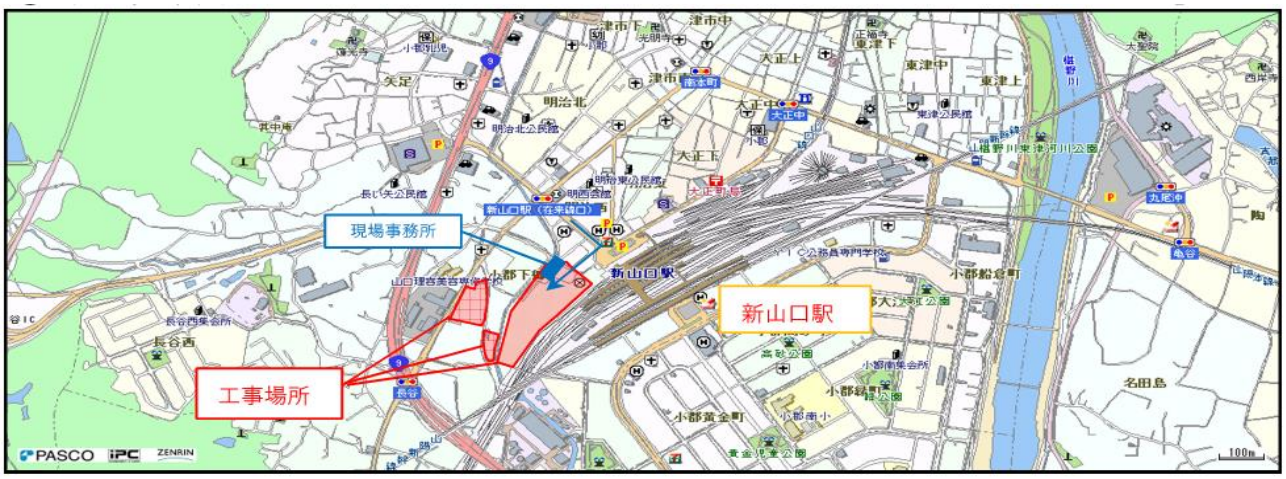
別紙１

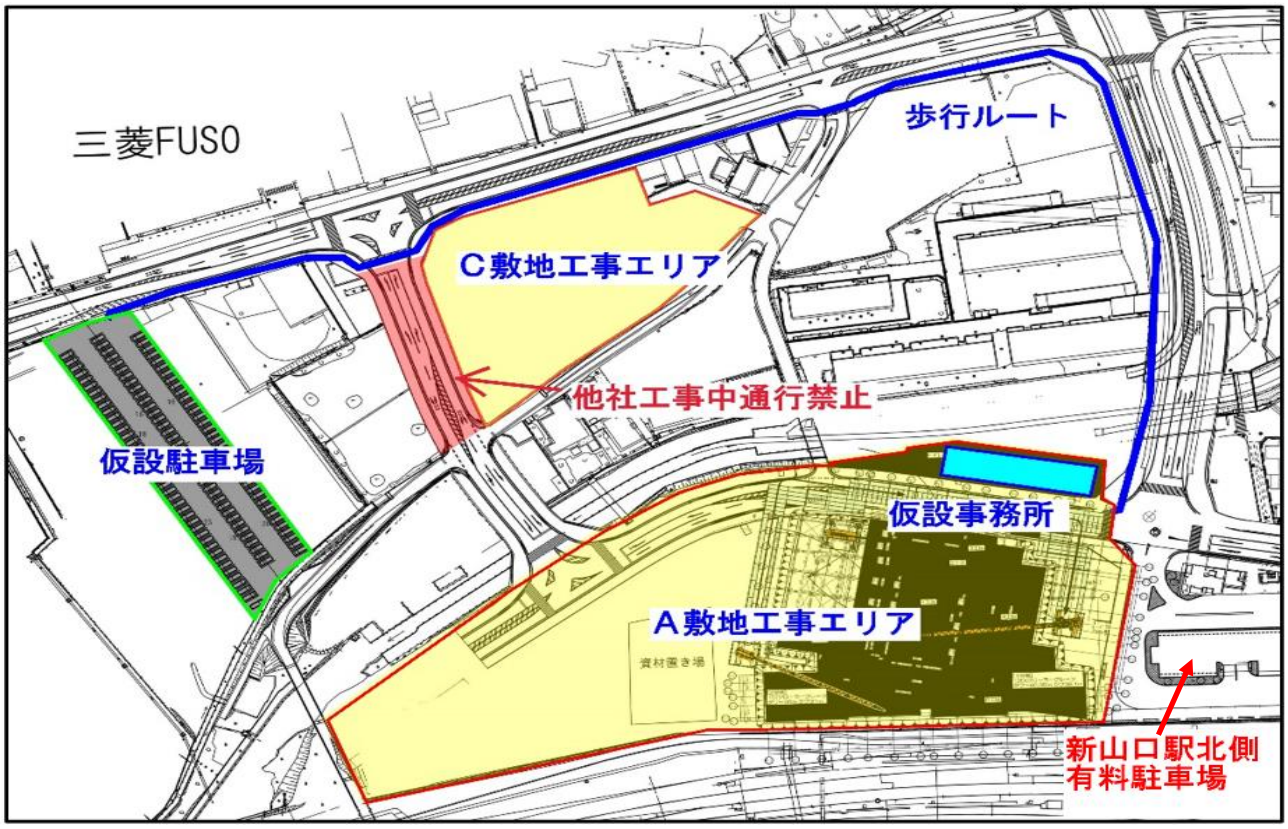
令和２年度 建設現場緊急安全パトロール実施要領

厚生労働省 山口労働局

１　日　　時　　令和２年１０月８日（木）　９：30～11：00
２　工 事 名　　新山口駅北地区拠点施設建設工事
３　工事場所　　山口市小郡下郷地内（新山口駅北側）
４　施 工 者　　大成建設・積水ハウス・鴻城土建工業特定建設工事共同企業体
（代表者　大成建設株式会社　中国支店）
５　発 注 者　　山口市 新山口駅拠点施設整備推進室
６　工　　期　　平成３１年３月１８日～令和３年３月２６日
７　工事概要　　多目的ホール（アリーナ式)、事務所及び立体駐車場の建設
建築面積　8,932.3ｍ^2　最高高さ 25.1ｍ　SRC・RC・S 造、地上５階
８　タイムスケジュール
（１）　9：30　大成建設・積水ハウス・鴻城土建工業特定建設工事共同企業体
仮設事務所１階会議室集合
（２）　9：35　開　始
①　山口労働局長　挨拶
②　工事概要説明（現場所長）
（３）　9：50　（現場へ移動）
（４）　10：00　現場パトロール開始（30 分）
（５）　10：30　現場パトロール終了
（仮設事務所１階会議室へ移動）
（６）　10：40　講　評
①山口労働基準監督署長
②建設業労働災害防止協会山口県支部長
③山口労働局長　総括講評
（７）　10：55　現場所長　挨拶
（８）　11：00　終了・解散
９　参加者
（１）　山口労働局　　３名（局長、健康安全課長、安全専門官）
（２）　山口労働基準監督署　　２名（署長、安全衛生課長）
（３）　建設業労働災害防止協会　　２名（山口県支部長、支部事務局長）
（４）　山口市新山口駅拠点施設整備推進室　２名
（５）　施工者　　若干名
１０　その他
（１）　少雨決行（大雨の場合は中止。その場合は８時 30 分に決定する。）
（２）　新型コロナウイルス感染症防止のため、マスクを着用してください。

〔現場案内図〕





取材にあたっての留意事項

- 車は仮設駐車場をご利用ください。ただし、仮設駐車場を利用する際は、車が出られなくなるような駐車はしないでください。また、仮設事務所近くには有料駐車場もあります。
- 入場に際してはガードマンの指示に従ってください。
- 集合は仮設事務所１階会議室です。
- 現場内では指定された通路を通行し、移動等にあたっては工事関係者の指示に従ってください。
- 現場内はヘルメットを着用してください。
- 現場では、新型コロナウイルス感染症感染防止のため、マスクを着用してください。
- その他、パトロールに適した服装としてください。
- 取材対応窓口は、当日も含め次のとおりです。

山口労働局 労働基準部 健康安全課　℡０８３－９９５－０３７３

別紙３

令和２年　　月　　日

山口労働局労働基準部健康安全課　行き
（FAX　０８３－９９５－０３７６）

「建設現場緊急安全パトロール」（10 月 8 日）の取材予定について

所　　属			
（職　　名） 氏　　名	（　　）	（　　）	（　　）
連　絡　先 （電話番号）			

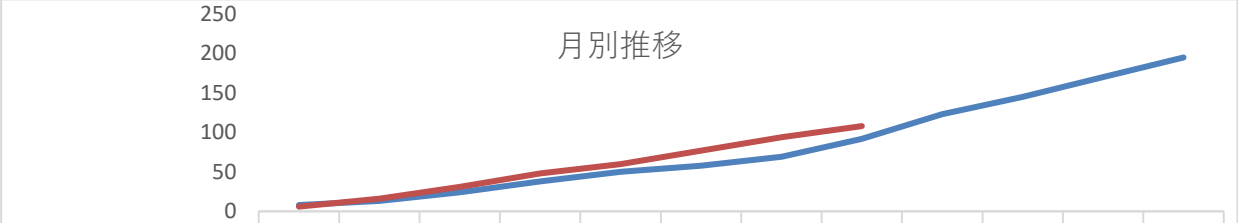
＝通信欄＝

※送付状は不要です。
※準備の都合がありますので、**１０月７日（水）１２時まで**にＦＡＸ願います。

参　考

令和２年の建設業における労働災害発生状況

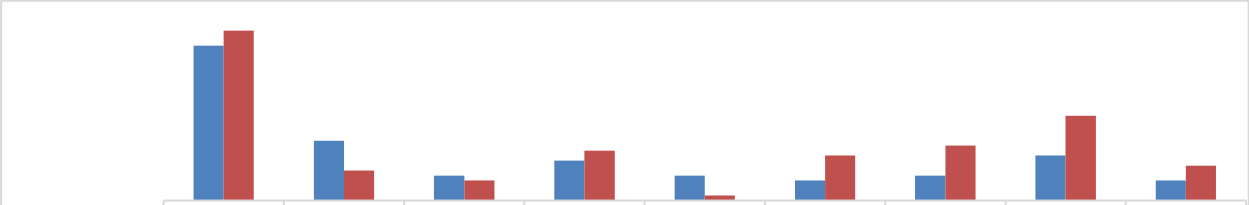
１　推移



	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月
令和元年	8	13	24	38	50	58	69	92	123	145	170	195
令和２年	6	16	31	48	60	77	94	108				

	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月
増減率(%)	-25.0	23.1	29.2	26.3	20.0	32.8	36.2	17.4

２　事故の型別（８月末）（抜粋）



	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	交通事故
令和元年	31	12	5	8	5	4	5	9	4
令和２年	34	6	4	10	1	9	11	17	7

３　死亡災害事例

災害発生年月	業種	事故の型	起因物	災害の概要
令和２年３月	設備工事業	墜落、転落	その他の構築物等	機械部品取り付けのため、手すりから身を乗り出し作業中、手すりから約４ｍ墜落した。
令和２年５月	土木工事業	中毒	硫化水素	下水管工事の写真撮影のため内部に立ち入ったところ、漏出した硫化水素により被災した。なお、救助作業にて複数人が休業、不休業災害となった。
令和２年８月	設備工事業	墜落、転落	建築物	集合住宅（５Ｆ）の屋上に太陽光発電パネルを設置中、屋上から約 15m墜落した。